

西村さとしの 市長コラム



若山牧水生誕 140 年にちなみ

今年、歌人若山牧水の生誕 140 年。生誕の地である日向市東郷町坪谷には、牧水が通った坪谷小学校があり、こちらは来年、創立 150 年を迎えます。

牧水は旅と酒を愛し、全国各地で詠んだ歌が残されている国民的歌人であることは、周知のことかと思えます。

もう 10 年以上前になりますが、牧水の歌碑がある群馬県暮坂峠を訪問し、旧六合村（現・中之条町）の村長を務めた山本さんに案内いただいたことがあります。

牧水が暮坂峠を訪れたのは 1922 年 10 月 20 日（牧水 37 歳）。六合村での 1 泊の間に、54 首の歌を詠んだと言われています。

また暮坂峠には「枯野の旅」の詩碑があり、詩に表し

た牧水の想いが感じられます。（詳しくは若山牧水著「みなかみ紀行」で）

暮坂峠には歌碑巡りをされる方も多く、牧水・短歌ファンから愛される場所となっています。またいつか行ってみたい所です。

今年も日向市ならではの短歌イベントがあります。8 月には、全国から集まった高校生が短歌で競い合うユニークな大会「牧水・短歌甲子園」を開催。選手達は勝っても負けても仲良く交流します。9 月には牧水の命日に合わせた「牧水祭」のほか、ゆかりの地めぐりや記念シンポジウムを予定。12 月には「青の國若山牧水短歌大会」の授賞式もありますよ。



暮坂峠の牧水詩碑前にて